



発達障害者の 障害特性を踏まえた 相談の進め方



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター

はじめに

障害者職業総合センター職業センターでは、平成 17 年から「ワークシステム・サポートプログラム」を開始し、ここでの実践を通じて、発達障害者に対する職業リハビリテーション技法の開発・改良を進めてきました。その開発成果については実践報告書や支援マニュアルとして取りまとめるとともに、職業リハビリテーション研究・実践発表会をはじめ、様々な機会を通して発信しています。

発達障害者の自己理解を進め、課題への対処方法や周囲への配慮事項を検討するためには、発達障害者が自らの経験を振り返り、気づきを得ることが大切です。そのため、支援者は発達障害者の振り返りを適切にサポートすることが求められます。

本マニュアルはワークシステム・サポートプログラムの実践等に基づき、発達障害者との相談の進め方の過程とそのポイント、支援者が押さえておくべき対応等についてまとめています。また、相談の効果的な実施に資するため、ワークシステム・サポートプログラムにおいて開発した支援ツールを中心に、使用目的や特徴等を整理し、相談目的に応じて支援ツールが適切に選択できるよう活用整理表を作成し、利便性の向上を図ることとしました。

本マニュアルの作成にあたり、明星大学人文学部福祉実践学科准教授 縄岡好晴氏並びに、目白大学心理学部心理カウンセリング学科助教及び国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター科研費研究員 駒沢あさみ氏から、専門的知見に基づき、ご助言賜りましたことを深く感謝申し上げます。

本マニュアルが様々な機関での障害者支援において活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和7年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 那須 利久